

# 太陽光、災害リスクを評価

## 保守団体 小規模発電所向け

太陽光発電の運転・保守（O&M）の手法を企画する新エネルギーO&M協議会（東京・千代田）は、東京海上日動火災保険などと共同で小規模太陽光発電所の災害リスクを評価する手法を開発した。リスクに応じた適正な保険料金の算定につながる

たな検査を始める。発電所の構造や、立地などをもとに事故リスクを評価する。大規模な太陽光発電は適地が限られ、小規模太陽光発電の開発が進んでいる。川沿いの浸水想定区域など災害リスクがあるような場所に建つケースもあり、リスク評価の手法が求められている。

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業として検査の仕組みを開発した。東京海上日動や三井住友海上火災保険などが発電所のリスク評価の手法の開発に参加した。同協議会は9月から新